



つづきジュニア編集局の記者たちが、年間を通して取材した「都筑こどもニュース」のダイジェストをお届けします。ホームページでもっとくわしい取材の記事をみることができます。「つづきジュニア編集局」で検索してぜひご覧ください。

### 世界最高齢のプログラマーは、日本人のすてきなおばあちゃん

60才からパソコンを使い始め、70才からプログラミングを勉強し、80才でお年寄り向けアプリ「hinadan」を開発した若宮正子さん。現在は83才で、小学生向けプログラミング教室を開催するすてい人でした！「hinadan」は、ひな人形を正しい場所に置くシニア向けゲームアプリです。シニアが楽しめるゲームをつくらうと、日本の昔を未来に伝えるために「ひなだん」をテーマにしました。

若宮さんがプログラミング教室で使っているIchigoJamは、手のひらサイズのプログラミング専用コンピュータで、鯖江市で開発されました。IchigoJamを実際に見せて下さり、あんなに小さな機械で光の点滅をコントロールしたり、音を鳴らしメロディを作ったりしていて、技術のすごさを目の当たりにしました。



プログラミングで楽しいのは「こういうものを作りたい」と思ったものができたときだそう。夢や想いは何才でも実現できるんだと思いました。(2018.7.8)

### 都筑区新区長さん取材～自然と都市の融合、都筑

中野創区長は、今年2018年4月に就任されたばかりです。大学時代に学んだことを生かし、公園緑地部長として都筑区の緑道や公園の設計などにも携わったことがあるそうです。

都筑区は、歩行者が歩く緑道などの道と自動車を通る車道を分けることで、障害者の方や子連れの方も優

しい、バリアフリーがとても進んでいる街です。横浜市で農家の数が1位と農業も盛ん。また、製造業に携わる中小企業を応援し、区を活性化させようと「メイドインつづき」という取り組みもあり、工業の発展にも力を入れています。

区長になって良かったことは、都筑区のために頑張っている、たくさんの人々と出会えたことだそう。「緑が多いので、自然を生かしたすてきな都筑区にしたい」とおっしゃっていました。



都筑区をさらに良くするために頑張っている中野区長を見て、私たちも都筑区の良いところを大切にしていこうと思いました。(2018.7.27)

### 工場の中にあるカフェ DEN

『DEN』は、東山田にある株式会社スリーハイの工場の1Fのカフェです。オープンして1年とまだ新しいですが、多くの地域の人たちが集まる場所になりました。

スリーハイは、オーダーメイドのヒーターをつくっている会社です。遊園地にあるジェットコースターの線路が、冬凍らないようにしたり、寒い地域の水道管が凍ってしまわないようなヒーターを特別につくったり、全部で約2000種類のヒーターを特注でつくります。

男澤社長は、スリーハイの工場が狭くなったため、二つ目の工場を作るとき「地域の方と交流する場所を作ろう」と考え、工場の1階をカフェにしました。

DENでは、いつもスリーハイの社員の方が片隅で、作業をしていて、工具も置いてあり、本当に工場の中のカフェです。



取材した日は、地域の方たちが絵を描いたり、お花をつかったワークショップをしたりと、たいへんにぎわっていました。(2018.7.30)

### 安全・安心な交通、東急バスの拠点「東山田営業所」

東急バスは東京23区と川崎、横浜で、バスは全部あわせて1日に約10万キロを走っています。地球1周が3万6千キロなので、どれだけたくさん距離を走っているかがわかります。取材した「東山田営業所」からは、75台のバスが発します。

ここは神奈川県にある東急バス営業所の車検を行う場所でもあり、大きなバスを整備する設備が整っていました。



バスにドライブレコーダーを設置し、危うく事故になりかねないヒヤッとした場面をドライバー同士で見ると、事故を設け、事故防止に努めたところ、過去10年と比べ、事故件数が約半分に減りました。また運転技術をみがくための安全なドライバーコンテストを社内で行っていて、他のバス会社と競うD-1グランプリも行いました。東急バスでは、運転技術をみがき、あ

ぶないポイントを勉強したりして、安心安全なバスを走らせる努力をたくさんしていることがわかりました。(2018.7.31)

### パソコンの病院 PCクリニック

PCクリニックは、お客さんが持ってきたパソコンを直すパソコンのお医者さんです。



他にもパソコンを買うお手伝いや設定などもしてくれます。修理の内容は「ウイルスを取り除いてほしい」「液晶ガラスが割れた」「起動ができない」などが多く、パソコンの不具合で解体してみても原因が見つからないときには、どのパーツが悪いのか、何度もひとつずつ試して原因を突き止めます。

パソコンは、そのまま捨てる大事なデータが盗まれてしまうので、データが入った部品を機械の力で壊して消去するサービスもあります。廃棄したパソコンの中には、まだ使える貴重な資源(レアメタル)が入っているの、リサイクルを行います。その作業は、情報が漏れることがない刑務所の人たちへお仕事を依頼して社会貢献にもなっています。(2018.8.2)

### 地元密着の本格ミュージカル集団「イクミンズ」

育児をテーマとしたオリジナルミュージカルを上演する団体「イクミンズ」。代表の杉本周子さんは、劇団で全国を公演した経験があり、結婚して子どもが生まれてからも地元で



もなにかやってみたく、イクミンズを立ち上げました。主婦目線、子育て目線でつくるオリジナルミュージカルは、観に来てくれた人だけでなく出演者全員が楽しみながら参加できるステージを目指しています。

杉本さんに「大変なことは？」と聞くと「ミュージカルのメンバーはだんだん参加が増えて、うれしいのですが、大人数が入れる稽古場所を予約するのがとても大変です」とのこと。

今年は自主的に面白い題材にとりくんでみたいと思い、ゴミの分別をテーマにした「イクミンズ3R夢(スリム)美人」をつくりました。



「これからも、みんなの身近なことを歌やダンスにして伝えていきたい」と杉本さんは楽しそうに話されました。(2018.8.21)

### 区民による手作りのお祭り「都筑区民文化祭」

区民文化祭は、都筑区内でさまざまな分野の文化活動をする方たちが、作品を展示したり、ステージで特技を発表したりするお祭りです。毎年1月から2月にかけて、都筑区役所のある区民ホールと公会堂で開催されます。

私たちが取材した日はそのポスター画を選ぶ大事な日でした。大人からちいさな子どもまで40点の作品が集まりました。今年は「都筑の未来、七色の架け橋」がキャッチフレーズなので、それに合う絵を選びます。ジュニア記者も投票に参加させてもらいましたが、どれもすてきな絵で選ぶのに迷ってしまいました。



区民文化祭は始まって23年になりました。都筑区民文化祭は、以前から都筑に住んでいた人と、新しく引っ越して来た人の交流のために始まった区民の手作りのお祭りです。最初のころはぜんぶ実行委員が用意するやりかただったのですが、だんだんボランティアでお手伝いする人が増え、参加する人も実行委員も一緒に、みんなで作る文化祭になりました。(2018.9.9)

### つづきジャズ協会のコンサートを取材しました

みなさんは、生でジャズの演奏を聴いたことがありますか？私たちがつづきジャズ協会の「JAZZ@都筑公会堂」というコンサートを取材しました。今回はなんと公募で選ばれた地元中高校生のキーボード、サクソ、トランペットの3名が難しいジャズの曲を数曲プロミュージシャンと共演しました。中高校生とは思えない堂々とした演奏ぶりに、会場からたくさんの拍手がありました。

後半はプロの演奏を楽しみました。途中で「Take the A Train」を演奏するので、ぜひステージに上がって一緒に踊りませんか？とジュニア記者が誘われ、コンサートのステージで緊張しながら、でも楽しく手拍子したり踊ったりして参加しました。



そもそもジャズとは何かよくわかりませんが、演奏者の中高生にインタビューすると「決まった楽譜ではなく、アドリブができるジャズはとても楽しい」と言っていました。アドリブとは、その場の瞬間瞬間に自由に浮かんだフレーズを演奏することです。今回取材して、ジャズには決まった楽譜がなく、オリジナルを演奏しているということがわかりました。ジャズの演奏はとても迫力があってすごかったです。(2018.11.10)

### ジャズ喫茶 Tommy's By The Park 取材

仲町台駅からすぐ、あと少しで緑道というところにある、『Tommy's By The Park』。ここでは少し大きめの音で、店主の和田さんがコレクションしたジャズアルバムを1日中聴くことができます。和田さんは現役でお仕事をされていたときに、本場アメリカで大好きなジャズのライブをたくさんみました。「そのジャズの楽しさを伝えたい」と定年後ここでジャズ喫茶をはじめました。



ときどきお店でピアノとベースのデュオ、ジャズギターなどのライブも行うこともあるそうです。とってもいい音で音楽を楽しめる心地よい空間で、禁煙でもあるので、子どもにも入りやすいと思いました。(2018.11.26)

### センター北・ドイツクリスマスマーケット in 都筑

今年7回目となったドイツクリスマスマーケットは、ドイツと日本の交流

を深めようとして始まり、今は2日間で2万人の方が訪れる人気のイベントになりました。



実行委員長でセンター北商業振興会会長の横田さんにお話を伺いました。「このイベントは、最初は都筑区とドイツ学園が主導しましたが、4回目からは、まちの人たちが中心になり、実施しています。ステージでのパフォーマンスも、地元の子どもたちやプロのアーティストたちにすてきなクリスマスを演出してもらっています。夜はイルミネーションもきれいですよ。」

マーケットにはたくさんのドイツの食べ物や飲み物、雑貨などが出ていましたが、とくに人気を集めていたのは、仲町台にある、東京横浜独逸(ドイツ)学園の出しているフランクフルトソーセージで、長い行列が出来ていました。ドイツ学園ブースは、クリスマス仕様のフェイスペインティングも行っていて、子どもたちが集まっていました。また、「メイドインつづき」という、都筑区のものづくりの企業のブースもありました。ドイツもマイスターの国ですが、都筑区でもユニークなものづくりの企業が集まっているのです。

赤ちゃん連れのドイツの方に思い切って英語で話しかけてみました。「武蔵小杉から来ました。本場ドイツのクリスマスマーケットよりずっと暖かいですね、イベントを楽しんでいます」と答えてくれました。私たちもドイツの方とお話し、小さな交流をしました。(2018/12/8)

広告

農家直送 お米 クーポン

こちらをクーポン券としてご持参いただければ直送米10kgで100円引き!

0120-02-1122

都筑区・青葉区全域、周辺地域配達無料(日曜日定休)

広告

住まいの情報を & モデルハウス & ドッグラン

Housquare Yokohama

全てが集まる「多機能住宅展示場」

- キャラクターショー
- 野外遊具イベント
- 親子カルチャー講座
- ハンドクラフト講座
- インテリア/収納セミナー
- トークショー

体験 相談 情報

最新のモデルハウスと住関連ショールームが夢の住まいを応援

〒224-001 横浜市都筑区中川1丁目4-1 ☎045-912-4110 地下鉄ブルーライン中川駅下車徒歩2分

学力を伸ばしたい小学生に

読売KODOMO新聞

毎週木曜日発行

- 月額 550円(税込み)
- タブロイド判 オールカラー 20ページ

読売KODOMO新聞は、早いうちから新聞に親しむ習慣を身に付けてもらい、子どもたちの成長を後押しすることを願って、2011年3月に創刊した小学生向けの新聞です。イラストや写真を大きく使ったレイアウトで、ニュースや社会の仕組みを楽しく、分かりやすくお伝えします。1週間の政治、経済、事件、国際、スポーツの主要記事を選び抜いて掲載しているため、家族で読むのはもちろん、学校の授業にも役立ちます。学年誌や図鑑の編集に定評のある小学館や、大手学習塾・四谷大塚の協力も受け、他紙では読めない楽しい読み物や、学習コーナーを用意しています。

進路が気になる中学生に

読売中学生新聞

毎週金曜日発行

- 月額 850円(税込み)
- タブロイド判 オールカラー 24ページ

読売中学生新聞は、「10代が世の中を知る教科書」のような新聞を目指し、2014年11月に創刊しました。ニュースをはじめ、スポーツ、英語学習、書評、エンターテインメントまで、30以上の多彩なコーナーがあります。若者が読みなれた横書きを採用し、注目のニュースはイラスト・図表をふんだんに使って紹介。将来の職業を考える機会となるように、各界のプロを密着取材した記事を毎週掲載しているのも特色です。また、スマートフォン用の無料投稿アプリ「Yteen」を開発し、安全なネット環境での交流、議論の場を読者に提供しています。

申し込みは 0120-4343-81 または最寄りのYC(読売新聞販売店)へ